

子育て困窮家庭を支える

Mama's 基金

岐阜県多治見市 NPO法人 Mama's cafe

〔2016年〕

岐阜県内の児童相談所の児童虐待相談対応件数は過去最高となりました。多治見市は名古屋への通勤圏という土地柄、近年転勤族の増加・核家族化・ベッドタウン化が進み、子育てはますます孤立化し「子育て困窮家庭」が増えています。

〔2017年〕

「子育て困窮家庭とその子ども」を支援するため「Mama's 基金」を立ち上げました。



「子育て困窮」とは、生活困窮者（生活保護者）とは違います。生活保護を受けるほどではない、DVじゃない、虐待もない、障がい精神疾患もない。家はある、収入も

ある…でも、子育てでつまずいている親、日々の生活で困り感を抱える子ども。

生活困窮・子どもの貧困は、国も動き出し福祉制度の中で支援されるが、「子育て困窮者」は生活保護レベルじゃないからどこにもフックがかからず支援を受けることができないでいる。でも、経済的にはギリギリ、気持ちもギリギリ、周囲に助けを求められない孤独を抱える親。一人ぼっち、勉強もついていけない保育にかける子どもたち。

福祉制度のスキマにこぼれ落ちた子どもと親「子育て困窮家庭」を支えたい。

そこを支えることは、その先にある虐待・子どもの貧困の予防になると考えました。

そこでNPO法人Mama's cafeは「Mama's

基金」を立ち上げファミサポの仕組みで支援する仕組みを創りました。



「Mama's 基金」立ち上げ講演会には、220名を超す参加者が集まり、その日に多くの寄付が集まりました。会場内で、寄付の受付をしている風景

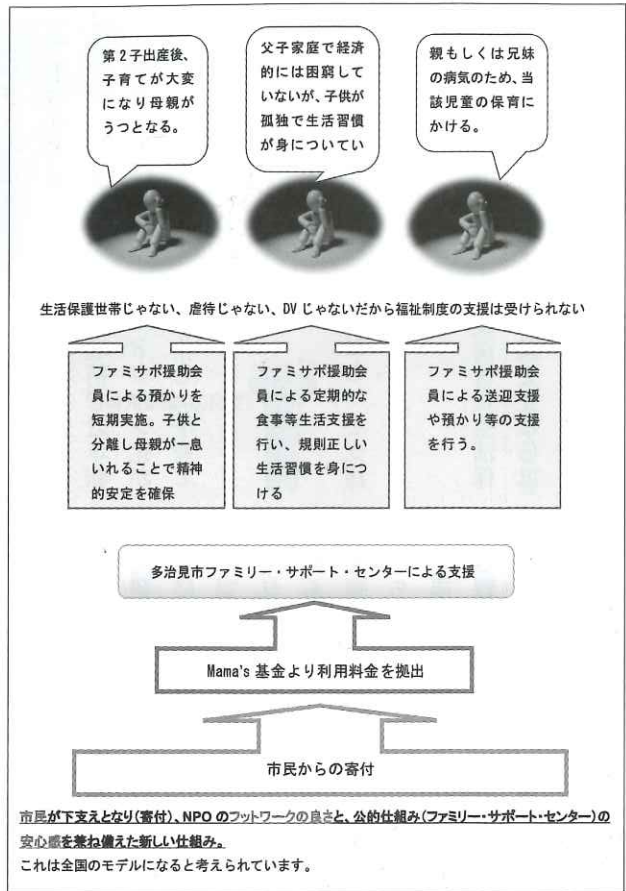


【2017年3月3日】子育て支援関係団体
 プレ交流会 基金を創設するにあたり、関
 係機関や専門家からご意見をもらいました。



新聞、TV等ひろくメディアで基金への寄付
 を呼びかけました

【2017年5月14日】Mama's 基金キッ
 クオフ 講演会開催 寄付の受付開始・マ
 スコミ報道開始
 寄付総額 313万9252円
 趣旨に賛同し、数百人の市民や法人から寄
 付が集まりました。
 【2017年5月〜9月】Mama's 基金の
 説明を行政機関に実施。教育委員会・民生
 児童委員協議会・校長会・教頭会等
 【2017年6月下旬】Mama's 基金（ファ
 ミサポ利用）相談開始
 【2017年8月〜】援助活動開始



1. 現在私たちが運営している「ファミ
 リー・サポートセンター」の事業を活用
 し、支援をしました。
 ＊ファミサポは、厚生労働省が所管の地
 域の助け合いの仕組みで、全国863の
 市区町村（平成29年度実績）が実施して
 います。直接家庭に入り、育児支援を有
 償で行うサービスです。
2. このファミサポの利用料を「Mama's
 基金」から拠出しました。

実績・成果（2019年3月末まで）

活動世帯数 27世帯
 活動した世帯の背景（母親が病気8世帯・
 産後2世帯・育児不安2世帯・若年5世帯・
 多胎（双子）3世帯・多子2世帯・ひとり
 親5世帯）
 活動拠出総額 87万7762円
 活動総時間数 1337時間
 約2年足らずで、1300時間以上の支

援を実際に行い、多くの家庭を支えています。また岐阜県羽島市でMama's 基金をモデルにして同様の仕組みが立ち上がりました。

利用者の声

〈2歳・0歳の母親〉

産後に調子を崩し、子どもの世話をするのが辛くてどうにかなりそうでした。一人目の時にファミサポを知っていましたが、7000円なんて払えないので問題外でした。でも今回助成をしてもらえると聞いて利用させて頂きました。(いろいろ払えないものがいっぱい)週に2回ぐらい来てもらい、子どもをみてもらっている間に寝かせてもらいました。久しぶりに何も気にしないで寝られました。寝かせてもらえて、おしゃべりもしているうちに体調も戻り、パートをすることにまりました。いつも悩んでいたお金のことも少し解決。

〈初産の母親〉

私も夫も実家が遠い上に、実家の父は介護が必要です。そんな状態なので里帰りも出来ず手伝いにも来てもらう事も出来ません。退院後は夫に協力してもらいながら育

児をする決心をしました。しかし出産を間近に控えると不安が大きくなりファミサポに相談しました。すると、沐浴のお手伝いをしながら寄り添ってもらうことが出来る。また、産後の体調が戻るまでの1カ月間夫の休み以外は来てもらうことが出来る。と知りホッとしました。でも、それだけ利用するとお金の方を心配しましたが「ママズ基金」で助成してもらえることになり本当に助かりました。誰かわかりませんが寄付を下された方に感謝です。おかげ様でジャスト1カ月で自立しました！

〈3歳・5歳の母親〉

私はいろいろと持病があります。そのため外出がなかなか難しいです。なので、子ども達を保育園に送っていただくことが出来ず、不登園の状態が長く続いていました。外で思いっきり遊びたいだろうし、お友達とも遊びたいだろうし。でも、送迎することが出来ませ

んでした。そんな時にファミサポを紹介してもらい利用することにしました。今までも利用するお金などなく利用するなんて考えてもいませんでしたが、助成をしてもらえると知ってお願いました。子どもの準備をするのもシンドイので、まだ週に2回ですが、子ども達が笑顔で園から帰ってくる姿を嬉しく思っています。ありがとうございます。

(特定非営利活動法人 Mama's cafe

理事長 山本博子)



講演会のみならず、勉強会、報告会等を開催し、多くの市民に子どもたちの現状と「Mama's 基金」の活動を伝えてきました